

令和6年10月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和6年10月22日(火)		
2 開会及び閉会	開 会	14時00分	
	閉 会	14時17分	
3 出席委員	教 育 長	三 宅 泰 司	
	委 員	上 西 芳 樹	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	門 原 眞 佐 子	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	岸 川 和 忠	教育次長	島 田 和 男
次長(教育総務部長兼務)	疋 田 洋 一	学校教育部長	齋 藤 靖
生涯学習部長	大 谷 哲 子	教育企画総務課長	山 邊 真 由 美
教育企画総務課 企画調整担当課長	佐 藤 美 穂	就学課学校調整担当課長	政 久 秀 生
学校指導課長	西 山 径	地域子育て支援課長補佐	江 國 朋 範
事務局 (教育企画総務課副主査)	合 田 耕 治	事務局 (教育企画総務課主事)	難 波 実 佑
5 議題及び結果			
議案 第21号 岡山市教育振興基本計画の計画期間の短縮について	原案可決		
6 教育長等の報告 [令和6年9月13日(金)～令和6年10月12日(土)]			
9/15	岡山市ジュニアオーケストラ対面式	地域子育て支援課	
9/18	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)	学校指導課	
9/19	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	学校指導課	
9/24	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	学校指導課	
9/25	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	学校指導課	
9/26	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育)	学校指導課	
9/27	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	学校指導課	
9/28	岡山後楽館中 夜間学級(夜間中学)第3回入学説明会	就学課	
10/2	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業)	学校指導課	
10/2	市長学校訪問	教育企画総務課	

10/4	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（公開授業）	学校指導課
10/9	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（公開授業）	学校指導課
10/10	子どもが輝く学びづくりプロジェクト（公開保育・授業）	学校指導課
10/12	自然体験リーダー養成講座	地域子育て支援課

7 議事の概要

教育長	○ 定刻が参ったので、ただいまから10月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日、傍聴者はいない。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ それでは、1日限りとする。 日程第2、こちらに9月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告をご覧になって何か質問等があればお願いします。
上西委員	○ 9月28日の夜間学級の説明会についてどんな状況だったか教えていただきたい。
学校調整担当課長	○ 9月28日、参加者4名、見学者1名で説明をさせていただいた。この第3回目は東区の百花プラザで行っている。今回で終了となるが、延べ18名の方が参加されて、個別説明もお二人、合計20名の方に願書を渡している状況である。11月下旬まで願書提出の期間になるが、出願状況としては11名の方から願書をいただいている。今後、この方々と面談をして、入学決定をしていくようになる。
上西委員 学校調整担当課長 教育長 学校調整担当課長	○ 人数は想定の範囲内か。 ○ 少し多い。10名弱と考えていた。 ○ 年齢構成は高齢の方が多いのか。 ○ ほぼ高齢の方、今出願されているのは50代から80代である。ただ、願書は渡している状況なので、今後出されるかもしれない。
教育長 学校調整担当課長	○ 何もないければ第1学年になるのか。 ○ 面談でお聞きして、1年生から学びたいということであれば1年生の入学であるが、もしも1、2年生の範囲がもう分かっている3年生から1年間だけ勉強したいということであれば3年生への入学も可能とはしている。
教育長 門原委員	○ ほかに行事、事業報告でご質問等があればお願いします。 ○ 自然体験リーダー養成講座について、参加者が3名おられたと思うが、具体的にどういう方が参加されたのか。内容として例えば初級、中級、上級といったステップがあるのか。また、何回か参加すると何か証書などがもらえるのかといったシステムを教えていただきたい。
地域子育て支援課 課長補佐	○ この体験は全7日間の構成になっていて、先だって1回目、2回目が終わって、この12、13日が3回目、4回目になる。初回の日、岡山大学の学生さんが30名くらい来られて、7日間全部のステップを修了すると自然体験リーダーズの認定証を交付している。ただ、7日間全部参加しないといけないとなるとなかなか負担が大きく、参加者が集まらないので、1回でも2回でも参加可能としていて、大学生の方は大体1回の参加である。この日は3名の参加であった。退職された理科の先生や、保育園、幼稚園の先生といった3名が参加されていた。11月16日、17日に近隣の小学生を集めて実際にプログラムを行う予定であるが、講師の方に自然体験の講習をしてもらった後、16、17日に行うプログラムの内容を考えるというのがこの12日、13日の主な内容である。
門原委員	○ 例えば7日間のうち1回参加したが、例えば今年は無理でも来年度など継続して7回参加すれば講座が終わるようなそういう工夫はないのか。年度でく

地域子育て支援課 課長補佐	くっているのか。
門原委員	○ 7日参加してもらえれば認定証を出させていただいている。さらに熱心な方は、この講師をしていただいている自然体験リーダーズクラブというのがあって、その方々は依頼を受けて公民館等で自然体験の講座を実施しており、そこに参加される方もいらっしゃる。門原委員が言われたような通算でというのは今はないが、熱心な方はリーダーズクラブまで参加して下さる方もいる。
地域子育て支援課 課長補佐	○ 通算で2年かけても認定証をもらえる仕組みがあると大学生は励みになると思う。行けないときもどうしてもあるので、通算期間があってもいいのかなと思う。
教育長 地域子育て支援課 課長補佐 片山委員	○ 今後検討してまいりたい。 ○ 養成講座は大体1日であるか。 ○ そうである。1、2回は1日である。
教育企画総務課企 画調整担当課長	○ 学校訪問をさせていただいて、伊島小学校でも本当に主体的で対話的で非常に活発な討議を拝見した。その後、実際に授業を実施された先生や、見学された先生の感想があれば教えていただければと思う。私は非常に刺激になり、自分自身の仕事にも役に立ち、私自身がいろいろ考えないといけないと学ばせていただいた。
片山委員	○ 直接あの時間を参観された先生方はいらっしゃらないので、ほかの先生方がどうだったかというのは私どもは把握していない。私が印象に残っているのは、若手の先生がいつも授業をする前に、子どもたちにすぐ答えが出る質問ではなく、いろんな考えを巡らせるような発問をするにはどうしたらいいか、考えているということを懇談に出られた先生方がおっしゃっていたことである。それをベテランの先生からアドバイスを受けて、自分で考えたりして授業づくりに努めていると。ICTも大分活用が進んできているというようなことも言うてくださったので、実際の先生方の具体的な普段の授業研究の様子がかがえた懇談だった。
教育長	○ 本当にああいったものをお互いに見られると、それもまた刺激になるだろうし、その後実施された先生に対して今おっしゃったような質問ができたり、お互いにそれを共有してお話ができたりするとまた深まっていくんだろうなと、とてもいい会を見せていただいた。
教育長 全委員 教育長	○ 若手教員との懇談会で市長が授業交換の話をしていて、A組の先生がB組の社会の授業を行うなど、授業交換してやっていたのが良かったと言われた。伊島小は若手と主任と、年齢はいろいろおられたが、チーム感があると感じた。だから、今後は教科担任がキーワードになるかもしれない。その兆しはちょっと市長も持たれた。若手育成がやはり課題である。
教育長 全委員 教育長	○ ほかはよろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ では、事業報告は以上で終わりたいと思う。
教育企画総務課企 画調整担当課長	本日は非公開となるものはないので、議事に入る。 日程第4、第21号議案を教育企画総務課から説明願う。 ○ 現行の第3期岡山市教育振興基本計画の計画期間を令和8年度までとしているところを令和7年度までにし、1年短縮することを提案する。 現行の計画を短縮する理由として2つ説明申し上げる。 1つ目は、資料の表にも書いているが、国が示す教育振興基本計画の計画期間から現行の岡山市の教育委員会の教育振興基本計画がずれているため、なるべく国の方針に合わせた教育振興基本計画を策定するために、現行の計画期間を短縮し、次期計画の策定を早めたいと考えたためである。資料の図にあるように、国の教育振興基本計画は令和5年6月16日に閣議決定され、計画期間は令和5年度から令和9年度までの5年間としている。計画には、国の教育政

策の目標、目標を実現するために必要となる基本施策や指標が示されている。岡山市教育委員会の教育振興基本計画は、国の計画を参考に策定することとなっている。

2点目、教育振興基本計画は、岡山市全体の総合計画の教育の詳細版として位置付けている。岡山市の次期総合計画は令和7年度、つまりは来年度策定する予定になっていることから、それに合わせたいと考えているのも理由の一つである。さらに、市長が定める教育大綱も令和7年度、来年度策定することになっているため、国の総合計画や教育大綱との整合を図るためにも、現行の計画の短縮を提案する。

なお、現行の計画の効果検証をするに当たり、目標値の設定年度等が危惧されているところであるが、現行の計画がそもそも岡山市の総合計画に合わせ、目標値の設定年度を令和7年度としている。であるので、効果検証等には支障ないものと考えている。

続けて、参考資料の説明をさせていただく。

教育振興基本計画、現行の計画の短縮に伴って、次期計画を1年早めて策定したいというふうに考えている。計画の位置づけとしては、これまでの現行の位置づけと同じく、岡山市の総合計画の教育の詳細版として位置づけようと思っている。なおかつ、先ほども申したように、教育大綱との連携、それから整合も図ってまいる。計画のスタートになるのは令和8年度ということになるが、計画終了の終了期に関しては、岡山市の総合計画に合わせたいと考えているが、まだ総合計画の計画期間が分かり次第、そこと合わせて策定したいと考えている。

2番、改定の体制としては、2つの組織を立ち上げようと思っている。

1つは、岡山っ子育成条例推進会議である。これは、岡山っ子育成条例を改定する際であるとか、こういった教育の振興基本計画を策定する際に立ち上げる組織で、構成としては保護者の方、学校園の代表者、地域社会、事業所の各代表者の方にお集まりいただいて、骨子案、素案等に対してご意見をいただくと考えている。

それから、もう一つの組織、岡山市教育振興基本計画進行管理会議を立ち上げる。これは、市長部局と連携して原案づくりを行うこの岡山市教育委員会事務局内の会議になる。基本的には課長級以上の方にご参加いただいて、ここでしっかり原案をもみたいと思っている。もんだ原案に関しては、随時教育委員会、皆様のほうにも提案申し上げて、併せて先ほど申した岡山っ子育成条例推進会議のほうにもお出ししてご意見をいただくというようなシステムである。それから、当然パブリックコメント等の手続きも取らせていただいて、一般の方からのご意見もいただく予定にしている。

3番の改定スケジュールとしては、来年度、令和7年8月に骨子案を決定して、教育委員会の定例会にかけさせていただきたいと考えている。11月には素案をお出しし、令和8年2月には決定して3月策定と、そして4月施行というようなスケジュール、来年1年間で仕上げるというようなスケジュールで進めてまいりたいというふうに思っている。

○ 質問、ご意見があればお願いします。

よろしいか。

○ 〈なし〉

○ それでは、原案どおり可決したいと思うが、よろしいか。

○ 〈承認〉

○ では、原案どおり可決する。

以上で本日予定していた議案の審議はこれで終了した。

以上をもって令和6年10月教育委員会定例会を閉会する。

教育長

全委員

教育長

全委員

教育長

傍聴の状況

報
一

道
般

0名
0名